

2020年度 新人看護師教育計画

- 新人看護師到達目標： 1. 指導を受けながら基本的援助が安全に実施できる。
 2. チームメンバーとしての役割・責任を果たす。
 3. 社会人・専門職業人であることを自覚する。

研修日程	研修名	目的	目標	研修内容
4月 2/3/6/7日 5月29日	新人研修 新採用時研修		1. 看護部の理念や方針を理解し、看護職員としての自覚をもつ。 2. 看護に必要な共通の知識・技術を持つ。	新人看護師に望むこと、組織人・社会人・専門職者としての心構え、接遇、看護倫理Ⅰ、院内感染予防について、輸液管理、教育体制について、医療事故防止について、個人情報の取り扱いについて、ナース手帖説明、看護記録・クリティカルパスについて、業績評価と目標設定シートの書き方、勤務シフトと労務管理、技術研修（点滴準備と介助、採血・注射、急変時の対応）
6月29日 7月3日 ※同内容	新人研修 3か月研修	当院の組織の一員として自覚をもち基本的看護が実践できる。	1. リアリティショックが軽減でき、チームの一員として看護する喜びが見出せる。 2. 安全に留意した援助の重要性が理解できる。	・「嬉しかったこと、楽しかったこと、困ったこと、ショックを受けたこと」KJ法によるGWを行い、1年修了時に目指す姿を明確にする ・医療安全KYT（転倒転落・内服・患者確認）
10月15日 10月19日 ※同内容	新人研修 6か月研修		1. 患者を迅速・安全に避難・誘導・救護する方法がわかる 2. 時間切迫における判断とSBARによる報告ができる。 3. メンバーシップについて理解できる。	・災害時の対応（講義・演習） ・多重課題シミュレーション SBAR ・メンバーシップについて
12月7日 12月17日 ※同内容	新人研修 9か月研修		1. コミュニケーション(対人関係)について学ぶ。 2. 留置針による点滴静脈内注射に関する知識・技術を学ぶ。	・コミュニケーションの原理原則 ・留置針による点滴静脈内注射
3月8日 3月15日 ※同内容	新人研修 12か月研修		1. 1年間の振り返りを行い、2年目の課題を明確にする。 2. ケーススタディについて学ぶ。	・「1年間を振り返って」PPT4枚作成し発表 ・ケーススタディについて
7月～11月	ローテーション研修		新採用者が大阪病院の臨床現場に、より円滑に適應できる基本的看護の知識・技術を習得する。	ICU（2週間）：クリティカルケアを必要とする患者を通して、基本的看護の知識・技術を習得できる。 治療検査・外来・入退院支援部門（2週間）：治療検査・外来・入退院支援部門の看護を体験し、各部署の看護展開に活用できる。 手術室：周手術期における手術看護の実際を学び、各部署の看護展開に活用できる。
6～10月	自部署研修		1. 看護を考えて自部署での看護業務実践を体験できる。 2. 自ら課題を見出し問題解決に取り組むことを体験することができる	病棟（自部署で2週間）：複数受け持ちによる看護過程の展開、看護業務
4月3日	看護倫理	人間の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重した看護が実践できる。	倫理の基礎的知識を理解できる。	・看護倫理とは ・看護者の倫理綱領について
6月5日 15日	看護記録	情報開示に対応でき、看護実践が見える記録が書ける	当院の看護記録マニュアルに沿って看護記録が書ける。	・POSとPONR ・事例をもとにSOAPの記載についてGW
7月6日 16日	看護過程Ⅰ	看護過程を正しく理解し、患者の個別に応じた看護実践	事例を通し、看護の方向性を明確にして患者目標が導き出せる。	・看護過程と一患者一看護計画について
5月29日	救急看護	救急場面における看護の役割を習得できる。	BLSを理解し実践できる。	・BLS（シミュレーション）
	フィジカルアセスメント	患者の全身を正しくアセスメントができる能力を習得する。	フィジカルアセスメントの目的と意義、必要な基本的技法を習得できる。	・ローテーション研修（ICU研修）時に実施

2020年度 新人看護師教育計画

	研修名	目的	目標	内容
12月7日 17日 ※同内容	コミュニケーションスキル	看護師として行動するためのコミュニケーション技法を学び、日々の看護ケアに活かすことができる。	1. コミュニケーションの原理・原則を理解する。 2. 看護師として行動するためのコミュニケーション技術を学び、日々の看護ケアに活かすことができる。	・コミュニケーションとは ・看護師としてのコミュニケーション ・傾聴のスキル
前期：4～6月 後期：9～2月	コアレクチャー		1. 基本的技術としてフィジカルアセスメントの方法を理解する。 2. 各科共通している臨床看護実践に必要な知識、技術について学ぶ。	1. 2. フィジカルアセスメント：呼吸・循環・意識レベルの観察 3. 心臓の解剖整理と心電図 4. 糖尿病と血糖コントロール 5. 周手術期アセスメントと観察 1. スキンケア 2. 感染管理 3. 入退院支援・地域連携 4. 認知症、高齢者看護 5. がん看護 6. 栄養管理と摂食嚥下
3月8日 15日 ※同内容	看護研究	看護の質的向上を目的とした看護研究に取り組める	1. ケーススタディを学び、事例検討に取り組むことができる 2. 文献を用いて行った看護を振り返り考察することができる。自己の看護観を明らかにすることができる	①講義 ②1年の学びの発表（事例を通して）

年間スケジュール

